

# Danke Berlin

『ありがとう ベルリン』 2013年12月 No.2

ドイツ連邦共和国 ベルリン日本人国際学校 多田明寿（札内中学校 在籍）

みなさん、お久しぶりです。前回の報告から半年が経ちました。季節は夏・秋を超えて、こちらも北海道と同じく雪の季節となりました。街中は、クリスマスムード一色で本当に美しい景色が広がっています。今回も、学校と生活両面についてレポートしたいと思います。

## 学校祭のようす

本校では、校舎が隣接するコンラード校そして姉妹校ドライリンデン校（ともに現地ドイツの学校）で学校祭の出張公演を行っています。今年度は創立20周年で、各クラス発表はもちろん、ドイツ語劇、合唱＆器楽、そして北海道稚内の南中ソーランなど、実に内容の濃いものでした。

特に、南中ソーランを見るドイツ人の方々の表情が印象的でした。運動会のラジオ体操でもそうでしたが、ドイツでは集団で何か一つの動作を揃えて行うということはしないそうです。私個人的には、遠くヨーロッパで北海道のソーラン節を聞くことに、妙な不思議さと嬉しさがありました。



## 総合的な学習



ベルリンと聞いて、まず真っ先に思い浮かぶのは「ベルリンの壁」ではないでしょうか？左の写真は、1989年壁が崩壊する数カ月前に、実際に命懸けで東ドイツ側から西ドイツ側に超えられて来た方の、体験談を聞いているところです。生徒達はもちろん、私もその内容の凄さと重みに聞き入ってしまいました。あれから25年、確実にベルリンはヨーロッパを代表する『世界都市』へと変貌しました。

## ベルリンの魅力・ほんの少し紹介

最後に私が住むベルリンの魅力を紹介。何といっても、丁寧で親切な『ドイツ人』に日々感謝です。

ドイツプロサッカー・ブンデスリーガの開幕戦。とにかく応援が「すごい」の一言！



家近くのクリスマスマーケット。ホットワインが最高ですが、ドイツのクリスマス。